



## サイト監視ツール Site Watchtower Version 1.0

### インストール手順

- ・ファイル名 swvxxxxx.lzh (LHA 圧縮形式) をダウンロードして頂いた場合は、ダウンロードしたファイルを同一フォルダに全て解凍し、SwInstall.exe を実行して頂くとインストーラが起動します。
- ・ファイル名 swvxxxxx.exe (自己解凍形式) をダウンロードして頂いた場合は、ダウンロードしたファイルを実行して頂くとインストーラが起動します。

※ファイル名の xxxxx にはバージョン番号が入ります。



- ・ここで、Site Watchtower 1.0 をインストールするフォルダに変更があれば、[変更(R)]ボタンをクリックしてインストール先を指定しなおして下さい。
- ・[インストール(A)]ボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。



- ・表示された内容に問題がなければ、[OK]ボタンをクリックしてインストールを開始します。



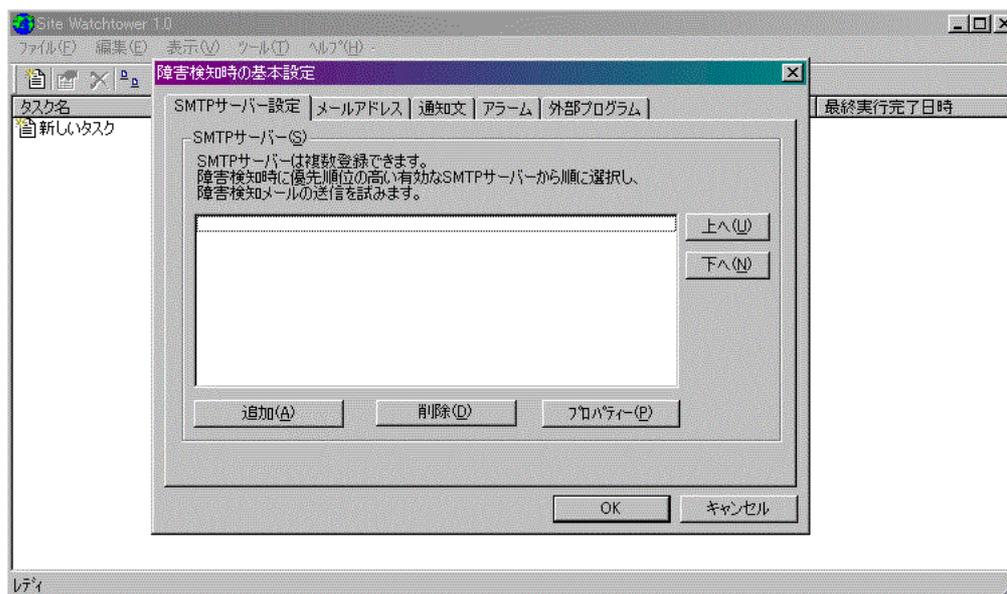
- ・これでインストールが完了しました。[完了(F)]ボタンをクリックして、インストーラーを終了して下さい。

## 起動と基本設定

- ・ デスクトップに作成されたショートカット「Site Watchtower」か、「スタート」メニューから、「プログラム(P)」⇒「Site Watchtower」をクリックして下さい。



- ・ Site Watchtower Version 1.0 が起動します。



- ・ 初回起動時は、「障害検地時の基本設定」ダイアログが表示されますので、必要な項目を設定します。
- ・ はじめに、障害を検地した場合や、警告、復旧時に管理者へメールを送信する為に使用する、SMTP サーバーの情報を追加します。
- ・ [追加(A)]ボタンをクリックすると、SMTP サーバー情報の設定画面が表示されますので、必要項目を入力した後、[接続テスト]ボタンをクリックして、接続テストを行って下さい。

※SMTP 認証は ( LOGIN PLAIN CRAM-MD5 ) に対応しています。  
※POP3 サーバーへの接続の際、APOP 対応のサーバーの場合は、自動的に APOP での認証を行います。

The screenshot shows a dialog box titled "SMTPサーバー情報" (SMTP Server Information). It is divided into two sections: "SMTPサーバー情報" and "接続オプション" (Connection Options).  
In the "SMTPサーバー情報" section, the "SMTPサーバー(S)" field contains "smtp.sitewatchtower.com" and the "接続ポート(P)" field contains "25".  
In the "接続オプション" section, there are two checked options:  
1. "SMTP 認証を使用する。(M)" (Use SMTP authentication). Below it, the "アカウント(A)" field contains "account@sitewatchtower.com" and the "パスワード(W)" field contains "\*\*\*\*\*".  
2. "POP before SMTP(SMTP after POP3)を使用する。(B)" (Use POP before SMTP). Below it, the "POP3サーバー(Q)" field contains "pop.sitewatchtower.com", the "接続ポート(T)" field contains "110", the "アカウント(U)" field contains "account", and the "パスワード(L)" field contains "\*\*\*\*\*".  
At the bottom of the dialog, there are three buttons: "OK", "接続テスト" (Test Connection), and "キャンセル" (Cancel).

・ 接続テストに問題がなければ、[OK] ボタンをクリックして画面を閉じます。

The screenshot shows a dialog box titled "障害検知時の基本設定" (Basic Settings for Disaster Detection). It has several tabs: "SMTPサーバー設定" (SMTP Server Settings), "メールアドレス" (Email Address), "通知文" (Notification Text), "アラーム" (Alarm), and "外部プログラム" (External Program). The "SMTPサーバー設定" tab is selected.  
The "SMTPサーバー(S)" section contains the text: "SMTPサーバーは複数登録できます。障害検知時に優先順位の高い有効なSMTPサーバーから順に選択し、障害検知メールの送信を試みます。" (Multiple SMTP servers can be registered. When disaster detection occurs, the system will select valid SMTP servers in order of priority and attempt to send disaster detection emails.)  
Below this text is a list box containing "smtp.sitewatchtower.com". To the right of the list box are two buttons: "上へ(U)" (Up) and "下へ(N)" (Down).  
At the bottom of the dialog, there are three buttons: "追加(A)" (Add), "削除(D)" (Delete), and "プロパティ(P)" (Properties).  
At the very bottom of the dialog, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

・SMTP サーバー情報は複数登録する事が出来ますので、必要に応じて[追加(A)]ボタンをクリックして、先程と同様の手順で追加して下さい。

SMTP サーバーの優先度は[上へ(U)]ボタンか[下へ(N)]ボタンをクリックして、変更する事が出来ます。

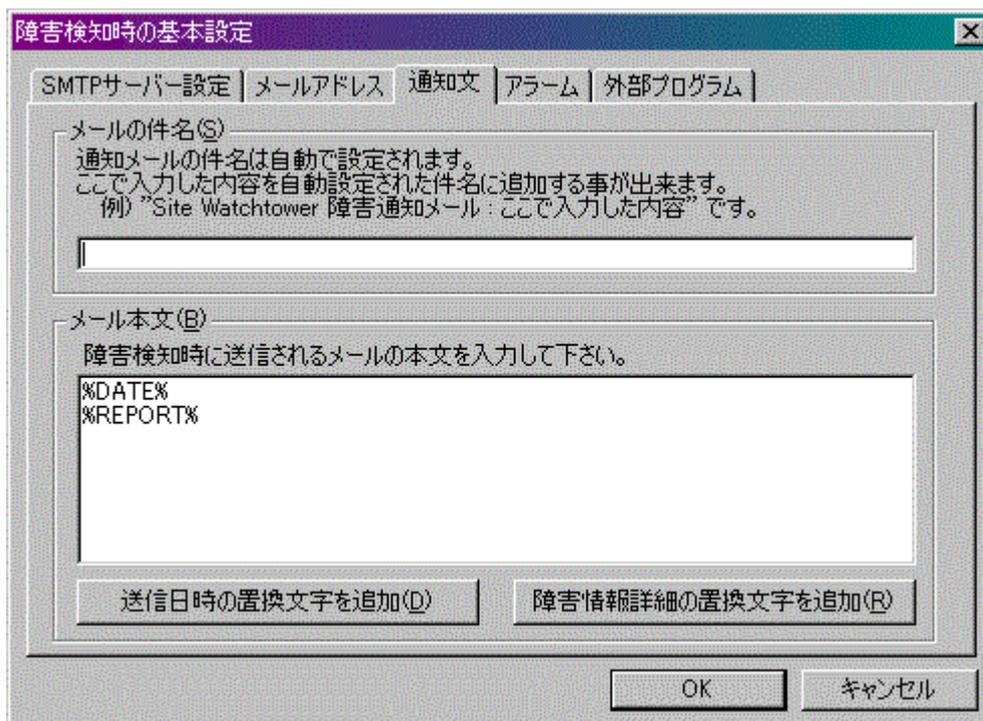
・次に「メールアドレス」タブをクリックして、メールの送信元と、送信先の設定を行います。

The screenshot shows a dialog box titled "障害検知時の基本設定" (Basic Settings for Alarm Detection). It has several tabs: "SMTPサーバー設定", "メールアドレス", "通知文", "アラーム", and "外部プログラム". The "メールアドレス" (Email Address) tab is active. Under "送信元(F)" (From), there is a text box containing "from@sitewatchtower.com" and a label "通知メールを送信するメールアドレスです。" (This is the email address to send notification emails to). Under "送信先(T)" (To), there is a list box containing three entries: "to01@sitewatchtower.com", "to02@sitewatchtower.com", and "to00@sitewatchtower.com". To the right of the list box are buttons for "追加(A)" (Add) and "削除(D)" (Delete). At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

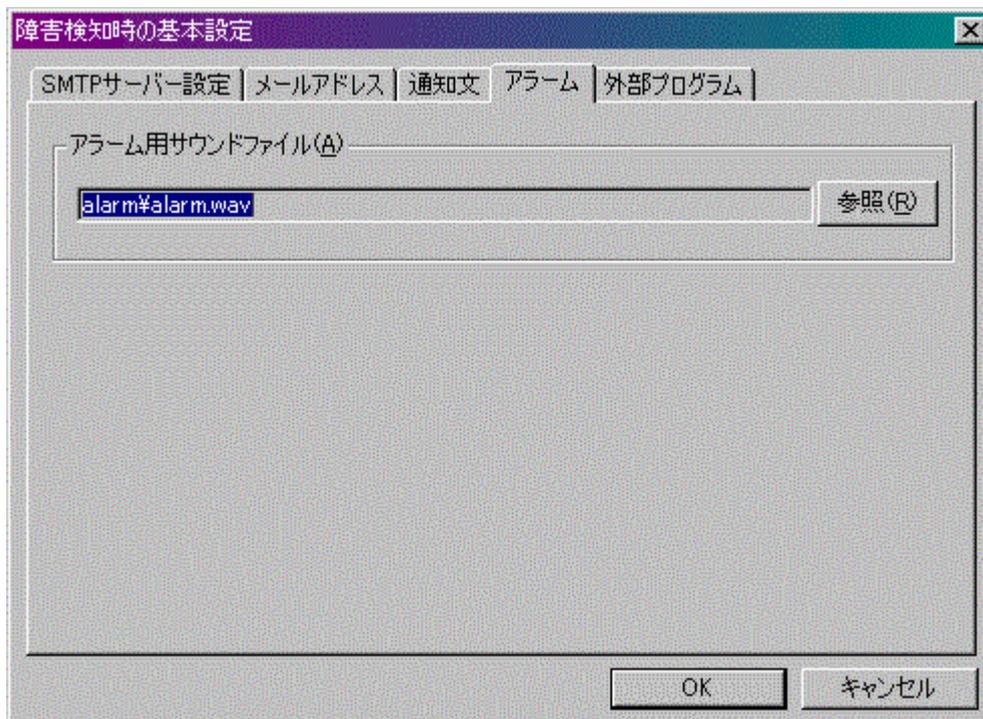
・送信元(F)に設定するメールアドレスは、Site Watchtower Version 1.0 が障害を検地した場合や、警告、復旧時に管理者へメールを送信する為に使用するメールアカウントを設定します。

・送信先(T)は、複数の管理者メールアカウントを登録する事が出来ます。メールアドレスを入力後、[追加(A)]ボタンをクリックして、リストボックスに追加して下さい。

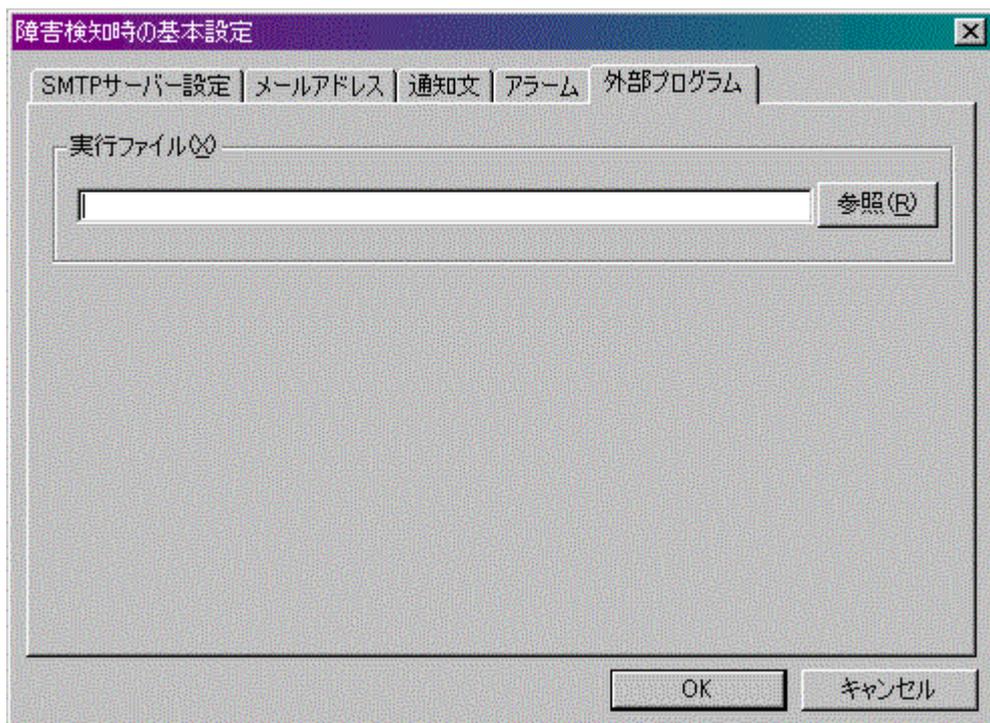
・「通知文」タブをクリックすると、メールの件名と、メール本文を設定する事が出来ます。既定では、日付と、実行結果詳細がメール本文の内容になります。



- ・「アラーム」タブをクリックすると、アラーム用のサウンドファイル(.WAV)を設定する事が出来ます。



- ・「外部プログラム」タブをクリックすると、外部の実行ファイルを設定する事が出来ます。



- ・ここで設定する、送信先、アラーム用のサウンドファイル、外部の実行ファイルは、以降で説明する、監視項目毎にも設定する事が可能です。
- ・ここまでの必要項目の入力が終了したら、基本設定は完了です。  
[OK] ボタンをクリックして、「障害検地時の基本設定」ダイアログを閉じます。

## 監視機能の説明

・ここでは、PING 監視機能で基本的な操作方法を説明した後、PORT 監視機能、HTML 監視機能、FTP 監視機能、

SMTP 監視機能及び、POP3 監視機能の設定を順を追って説明します。

・各監視機能の新しい監視項目を作成するには、Site Watchtower の「ファイル(F)」メニューから「新しいタスク(N)」をクリックします。「新しいタスクの作成」ダイアログが表示されますので、

タスク名を入力後、カテゴリの選択から監視したい機能を選択します。

(タスク名はログを表示する際にも監視項目を区別する為に使用しますので、わかりやすい名前をつけて下さい。)

※評価版は 各機能 (PING 監視機能、PORT 監視機能等) を同一機能で複数登録する事が出来ません。



・PING 監視機能を選択して[OK]ボタンをクリックすると、入力したタスク名の「プロパティ」ダイアログが表示されますので、必要な項目を設定します。

Site Watchtower PING のプロパティ

PING の基本設定

サーバー名 or IP アドレス : localhost

PING タイムアウト (1~60秒) : 1 秒

PING 試行回数 (3~99回) : 4 回

このタスクの実行間隔

実行間隔 (1~60分) : 3 分

障害検知時の動作

メールを送信する。

復旧時にメールを送信する。

警告レベルでメールを送信する。

既定の設定以外のメールアドレスへ送信する。

送信先の設定

アラームを鳴らす。

既定の設定以外のアラームを鳴らす。

参照

プログラムを実行する。

既定の設定以外のプログラムを実行する。

参照

このタスクを有効にする。(チェックを付けるとタスクが有効になります。)

OK キャンセル

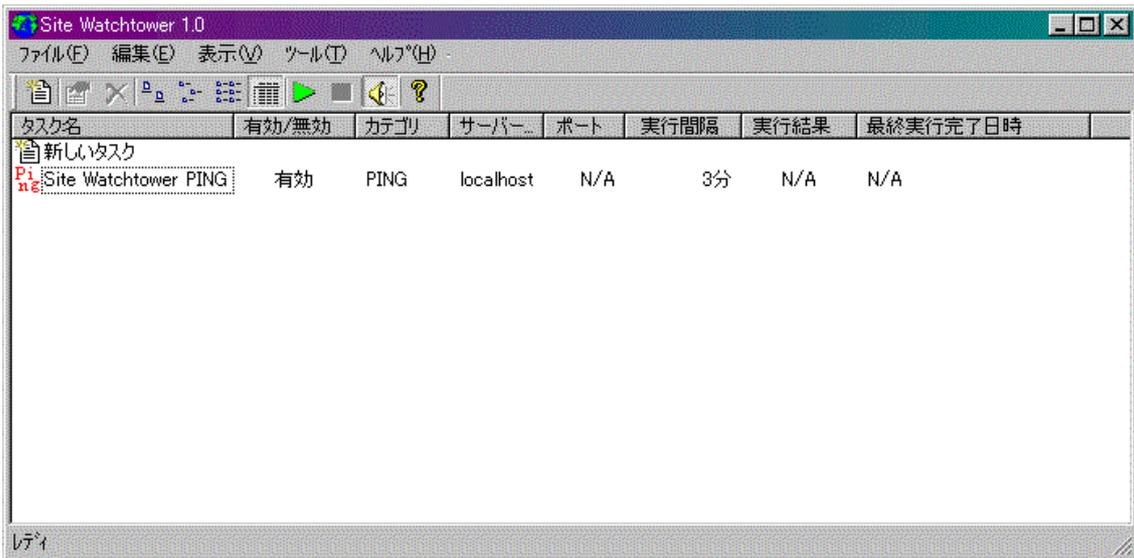
・サーバー名 or IP アドレスには、監視したいサーバーや機器のサーバー名か、IP アドレスを、その他の項目は必要であれば変更して下さい。

・障害検地時の動作の項では、初回起動時に、「障害検地時の基本設定」ダイアログで設定した情報が既定で使用されます。

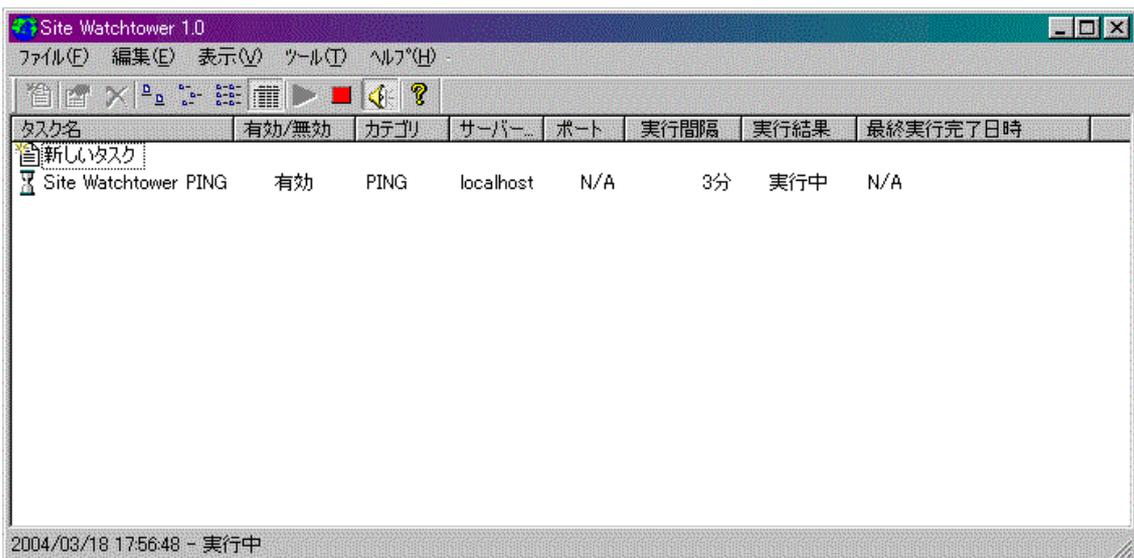
この監視項目にのみ個別の設定を行いたい場合は、必要項目を変更して下さい。

※警告レベルは PING 試行回数で設定した回数分 PING を行い、失敗率が 50%を超えた場合です。

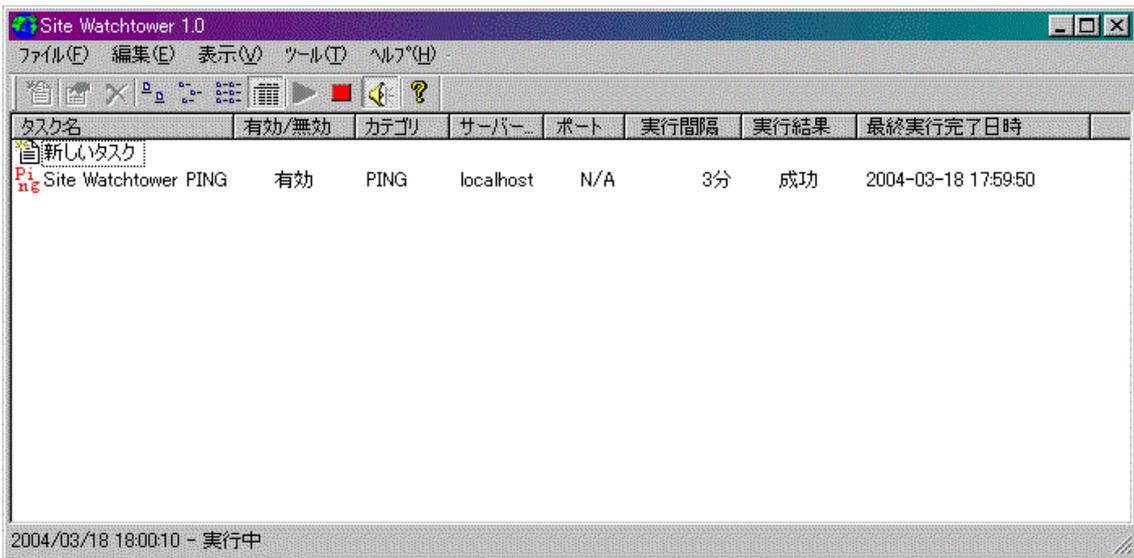
・各項目の入力設定が完了したら [OK] ボタンをクリックして、Site Watchtower に監視項目を登録します。



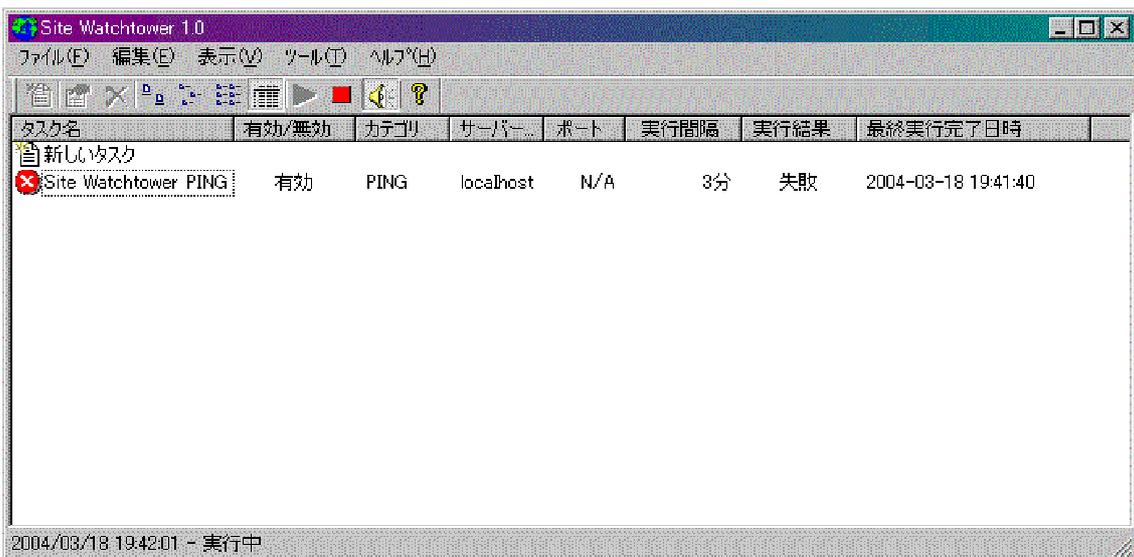
・チェックを開始するには、Site Watchtower の「ファイル(F)」メニューから「チェックの開始(C)」をクリックします。



・実行中は監視項目のアイコンが砂時計に変わります。



- ・チェックが終了すると実行結果と最終実行完了日時が更新されます。



・監視対象の異常を検知すると、項目のアイコンが  に変わり、監視項目に設定されている内容で、メールアドレスへのメール送信、アラーム及び、外部ファイルの実行を行い、管理者へ障害を通知します。

・アラームの再生を一時的に OFF にするには「ツール(T)」メニューから「アラームを OFF (A)」をクリックします。

※この操作は一時的に ON/OFF する為に使用します。

Site Watchtower の起動時は、アラームは常に ON の状態になります。

・実行した結果の履歴（ログ）を参照するには、Site Watchtower の「表示(V)」メニューから「ログの表示(V)」をクリックします。

稼働ログ - 2004-03-18  
ファイル(F) 表示(V) ツール(T)

日時	タスク名	カテゴリ	サーバー	ポート	結果
2004-03-18 17:51:06	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:54:35	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:56:34	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:56:40	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:56:48	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:59:50	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:02:52	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:05:54	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:08:56	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:11:58	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:15:00	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:18:02	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功

C:\Program Files\SiteWatchtower\log\2004-03-18.swl

・表示されているログの任意のレコードをクリックすると、対象の情報がポップアップで表示されます。

稼働ログ - 2004-03-18  
ファイル(F) 表示(V) ツール(T)

日時	タスク名	カテゴリ	サーバー	ポート	結果
2004-03-18 17:51:06	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:54:35	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:56:34	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:56:40	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:56:48	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 17:59:50	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:02:52	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:05:54	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:08:56	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:11:58	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:15:00	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功
2004-03-18 18:18:02	Site Watchtower PING	PING	localhost	N/A	成功

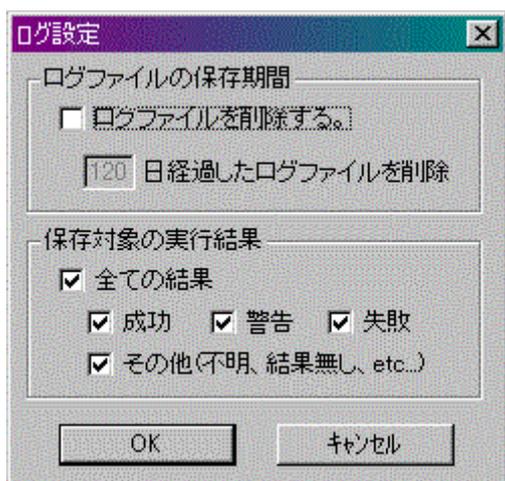
稼働ログ

日時 : 2004-03-18 17:56:48  
タスク名 : Site Watchtower PING  
カテゴリ : PING  
サーバー : localhost  
ポート : N/A  
結果 : 成功  
実行時間 : 2263msec  
詳細 : Pinging localhost [127.0.0.1] with 32 bytes of data:  
Sent=4 Received=4 Lost=0 (0% loss) Minimum=0ms Maximum=0ms  
Average=0ms TTL=128

前へ(B)      次へ(N)      閉じる(C)

C:\Program Files\SiteWatchtower\log\2004-03-18.swl

・ログの設定を変更するには、「稼働ログ」ダイアログの「ツール(T)」メニューから「ログ設定(S)」をクリックするか、Site Watchtower の「ツール(T)」メニューから「ログ設定(S)」をクリックします。



・ ログファイルの保存期間項では、一定期間が経過したログファイルを削除する為の設定が行えます。

※ ディスクスペースの少ない PC で Site Watchtower をご利用の際は、保存期間を短く設定する事でディスクスペースを節約する事が出来ます。

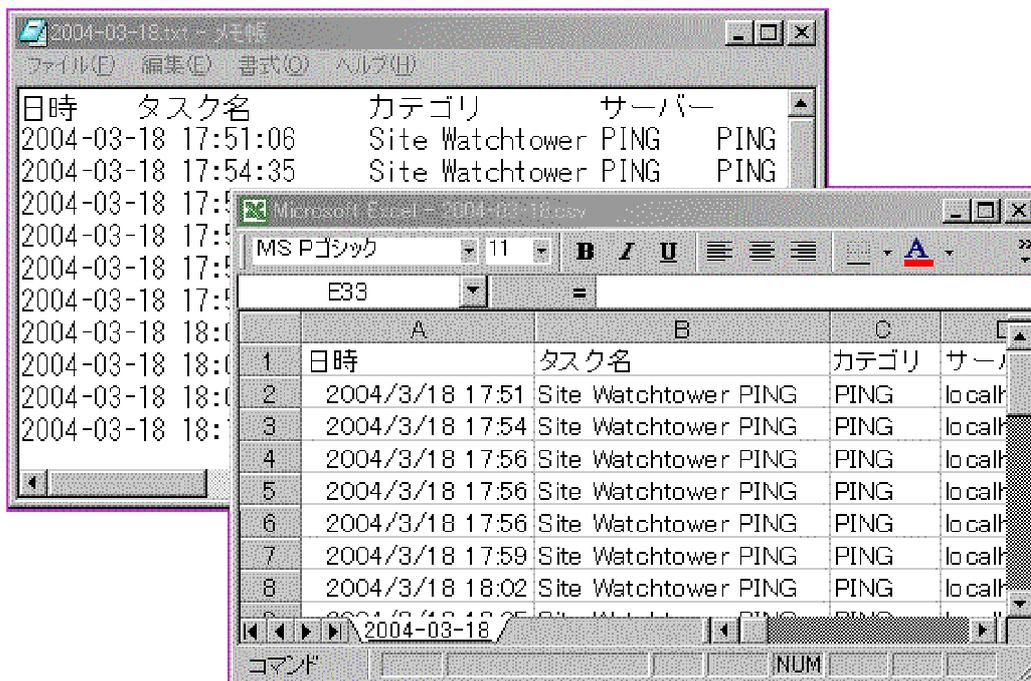
・ 保存対象の実行結果項では、ログに記録する実行結果をフィルターする事が出来ます。

※ 既定では全ての結果をログに記録する設定になっていますが、監視項目が多数登録されていて、監視項目の実行間隔が短い設定になっていると、大量のログが記録されますので、Site Watchtower を実行している PC によっては、ログの表示に時間が掛かる事がありますので、お客様の環境により調整して下さい。

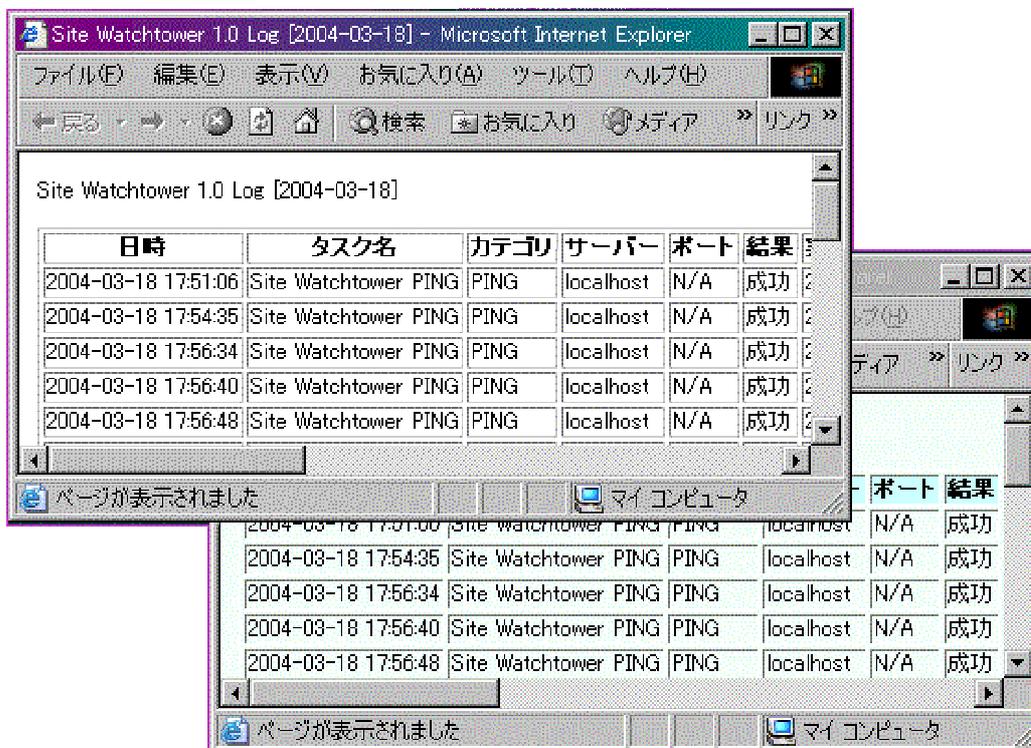
・ 必要に応じて設定した後、[OK] ボタンをクリックして、設定を保存します。

・ Site Watchtower のログは、メモ帳等で開く事が出来るテキストファイル形式、

Microsoft Excel 等で開く事が出来る CSV ファイル形式及び、Internet Explorer 等のブラウザで表示できる HTML 形式へエクスポートする事が可能です。



- ・エクスポートを行うには、「稼動ログ」ダイアログの「ファイル(F)」メニューから、「エクスポート(E)」で、変換したい形式のメニューをクリックします。
- ※HTML形式で保存する場合は、既定で表示される拡張子 .htm から .html に変更して頂くと、結果別にカラー表示された HTML ファイルが作成出来ます。



・次に PING 監視機能以外の設定を行います。一旦 Site Watchtower の「ファイル(F)」メニューから、「チェックの停止(O)」をクリックしてチェックを停止します。

・「ファイル(F)」メニューから「新しいタスク(N)」をクリックして「新しいタスクの作成」ダイアログでタスク名を入力後、カテゴリの選択から監視したい機能を選択します。

・PORT 監視機能を選択した場合の「プロパティ」ダイアログは以下のように表示されます。

Site Watchtower PORTのプロパティ

PORTの基本設定

サーバー名 or IP アドレス : localhost

ポート番号 (0~65535) : 80

再試行回数 (2~9回) : 2 回

このタスクの実行間隔

実行間隔 (1~60分) : 3 分

障害検知時の動作

メールを送信する。

復旧時にメールを送信する。

警告レベルでメールを送信する。

既定の設定以外のメールアドレスへ送信する。

送信先の設定

アラームを鳴らす。

既定の設定以外のアラームを鳴らす。

参照...

プログラムを実行する。

既定の設定以外のプログラムを実行する。

参照...

このタスクを有効にする。(チェックを付けるとタスクが有効になります。)

OK キャンセル

・サーバー名 or IP アドレスには、監視したいサーバーや機器のサーバー名か、IP アドレスを、ポート番号には、監視したいサービスが稼働しているポート番号を、その他の項目は必要であれば変更して下さい。

※警告レベルは、チェックが1度目に成功しなかった場合に再試行回数分のチェックを行いますが、チェック回数が合計3回以上掛かって成功した場合です。

・HTML 監視機能を選択した場合の「プロパティ」ダイアログは以下のように表示されます。

Site Watchtower HTML のプロパティ

HTML の基本設定  
 URL :   
 再試行回数 (2~9回) :  回

このタスクの実行間隔  
 実行間隔 (1~60分) :  分

障害検知時の動作

メールを送信する。  
 復旧時にメールを送信する。  
 警告レベルでメールを送信する。  
 既定の設定以外のメールアドレスへ送信する。

アラームを鳴らす。  
 既定の設定以外のアラームを鳴らす。

プログラムを実行する。  
 既定の設定以外のプログラムを実行する。

このタスクを有効にする。(チェックを付けるとタスクが有効になります。)

・ URL には、監視したい Web サーバーの URL を設定します。URL に設定できる書式は以下のとおりです。

標準的な書式の例 `http://www.sitewatchtower.com/index.html`

SSL 通信の指定は `http://` を `https://` にします。

パラメータ付の URL の場合は、

`http://www.sitewatchtower.com/test.cgi?param1=value1&param2=value2`

のようにします。※パラメータを指定できるので CGI をテストする事が可能です！

特定のポート指定は `http://www.sitewatchtower.com:12345/index.html` のようにします。

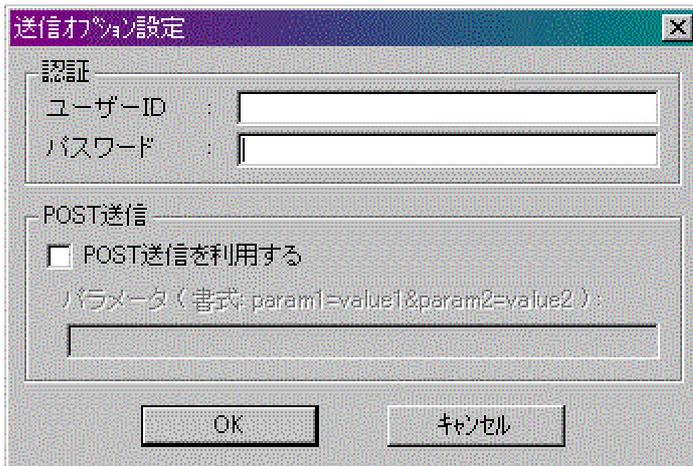
※HTTP STATUS が 2xx (Successful) 及び、3xx (Redirection) の場合を成功として扱います。

・ その他の項目は必要であれば変更して下さい。

※警告レベルは、チェックが 1 度目に成功しなかった場合に再試行回数分のチェックを行いますが、チェック回数が合計 3 回以上掛かって成功した場合です。

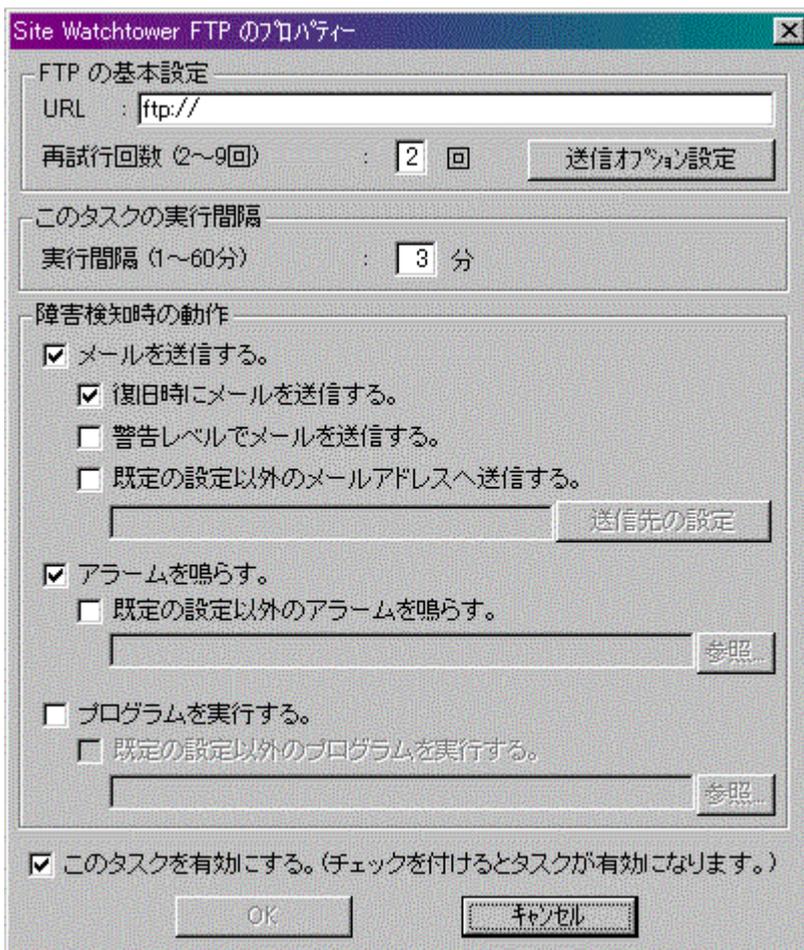
・ 認証の必要な URL にアクセスしたり、POST 送信を行いたい場合は、

[送信オプション設定] ボタンをクリックして、「送信オプション設定」ダイアログを表示して設定を行って下さい。



- ・ POST 送信を指定しても、URL に GET パラメータを指定可能です。  
※WEB サーバー側が対応している必要があります。

- ・ FTP 監視機能を選択した場合の「プロパティ」ダイアログは以下のように表示されます。



- ・ URL には、監視したい FTP サーバーの URL を設定します。  
特定のポート指定は ftp://www.sitewatchtower.com:12345/index.html のようにします。

・その他の項目は必要であれば変更して下さい。  
※FTP 監視機能のみ現在のバージョンでの警告レベルは無効です。  
(ご購入手続きの再にも、警告レベルに対応したバージョンのインストーラを無償で提供させて頂いております)

・認証情報、書込み(転送)テスト、削除テスト及び、パッシブモードでの接続設定を行うには、  
[送信オプション設定]ボタンをクリックして、「送信オプション設定」ダイアログを表示して設定を行って下さい。

送信オプション設定

認証

ユーザーID : anonymous

パスワード : \*\*\*\*\*

追加テスト項目

URLに指定したフォルダへ書込み(転送)テストを行う。

書込み(転送)テストしたファイルを削除する。

接続

パッシブモードを使用する。

OK キャンセル

・書込み(転送)テストで書き込むファイルは、「プロパティ」ダイアログでURLに指定したファイルを、一時作業フォルダへダウンロードした後、ファイル名のみを変更してFTPサーバーへアップロードします。

書込み(転送)テストに利用したファイルをFTPサーバーから削除するかしないかの指定も可能です。

・パッシブモードを使用する事が出来ます。ファイアーウォールの設定等により、通常の接続では上手く接続出来ないFTPサーバーに対して、改善される場合があります。

・SMTP 監視機能を選択した場合の「プロパティ」ダイアログは以下のように表示されます。

Site Watchtower SMTP のプロパティ

SMTP の基本設定

サーバー名 or IP アドレス : localhost

ポート番号 (0~65535) : 25

SMTP 認証を使用する。(M)

アカウント名 : \_\_\_\_\_

パスワード名 : \_\_\_\_\_

再試行回数 (2~9回) : 2 回

このタスクの実行間隔

実行間隔 (1~60分) : 3 分

障害検知時の動作

メールを送信する。

復旧時にメールを送信する。

警告レベルでメールを送信する。

既定の設定以外のメールアドレスへ送信する。

\_\_\_\_\_ 送信先の設定

アラームを鳴らす。

既定の設定以外のアラームを鳴らす。

\_\_\_\_\_ 参照...

プログラムを実行する。

既定の設定以外のプログラムを実行する。

\_\_\_\_\_ 参照...

このタスクを有効にする。(チェックを付けるとタスクが有効になります。)

OK キャンセル

・サーバー名 or IP アドレスには、監視したいサーバーや機器のサーバー名か、IP アドレスを、ポート番号には、監視したいサービスが稼働しているポート番号を、SMTP 認証が必要な場合は、アカウントとパスワードを、その他の項目は必要であれば変更して下さい。

※SMTP 認証は ( LOGIN PLAIN CRAM-MD5 ) に対応しています。

※警告レベルは、チェックが1度目に成功しなかった場合に再試行回数分のチェックを行いますが、チェック回数が合計3回以上掛かって成功した場合です。

・POP3 監視機能を選択した場合の「プロパティ」ダイアログは以下のように表示されます。

Site Watchtower POP3 のプロパティ

POP3 の基本設定

サーバー名 or IP アドレス : localhost

ポート番号 (0~65535) : 110

アカウント(U) :

パスワード(L) :

再試行回数 (2~9回) : 2 回

このタスクの実行間隔

実行間隔 (1~60分) : 3 分

障害検知時の動作

メールを送信する。

復旧時にメールを送信する。

警告レベルでメールを送信する。

既定の設定以外のメールアドレスへ送信する。

送信先の設定

アラームを鳴らす。

既定の設定以外のアラームを鳴らす。

参照...

プログラムを実行する。

既定の設定以外のプログラムを実行する。

参照...

このタスクを有効にする。(チェックを付けるとタスクが有効になります。)

OK キャンセル

・サーバー名 or IP アドレスには、監視したいサーバーや機器のサーバー名か、IP アドレスを、ポート番号には、監視したいサービスが稼働しているポート番号を、アカウントとパスワードには、認証に必要なアカウントとパスワードを、その他の項目は必要であれば変更して下さい。

※POP3 サーバーへの接続の際、APOP 対応のサーバーの場合は、自動的に APOP での認証を行います。

※警告レベルは、チェックが1度目に成功しなかった場合に再試行回数分のチェックを行いますが、チェック回数が合計3回以上掛かって成功した場合です。

## アンインストール手順

- ・「アプリケーションの追加と削除」から、“Site Watchtower 1.0” を選択して頂くと、アンインストーラーが起動します。



- ・ [アンインストール(U)] ボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。



- ・ 問題がなければ、[OK] ボタンをクリックしてアンインストールを開始します。



- ・ここまでの処理は終わりました。アンインストール完了するには再起動する必要があります。すぐに再起動してアンインストールを完了するには、[完了(F)]ボタンをクリックして、インストーラーを終了して下さい。
- ここで再起動したくない場合は、『再起動しないで終了する。』にチェックをつけて下さい。次回 OS 再起動時に最終処理を行いアンインストールが完了します。

※本文中掲載の名称は、各社が商標として使用している場合があります。  
※Microsoft Windows の名称は、Microsoft Windows Operating System です。  
※Microsoft、Windows、Excel、Internet Explorer は、  
米国 Microsoft Corporation の米国及び他の諸国における登録商標です。  
※Pentium II 及び Pentium III は Intel Corporation の登録商標または商標です。

Copyright (C) 1997-2004 Morimichi ASAHARA